



第76回日本皮膚科学会
西部支部学術大会
イブニングセミナー ③

2024年 **9.7(土)**
16:50-17:50

C会場 あわぎんホール
4F会議室2・3

〒770-0835 徳島県徳島市藍場町
2丁目14番地

IL-17登場

10年の歴史から考える

乾癬治療戦略



講演

1

尋常性乾癬治療の パーソナライズドアプローチ

座長 帝京大学医学部皮膚科学講座 教授 **鎌田 昌洋 先生**

演者 東京医科大学皮膚科学分野 講師 **阿部 名美子 先生**

講演

2

長期的視点に立った 乾癬バイオ製剤選択のポイント

座長 東京大学大学院医学系研究科 臨床カンナビノイド学講座 特任准教授・講座長 **吉崎 歩 先生**

演者 大分大学医学部皮膚科学講座 助教 **齊藤 華奈実 先生**

IL-17登場 10年の歴史から考える乾癬治療戦略

10
th



講演 1

尋常性乾癬治療の パーソナライズドアプローチ

演者 東京医科大学皮膚科学分野 講師 **阿部 名美子 先生**

乾癬診療を取り巻く環境の進歩が著しい昨今、特に生物学的製剤は11種類が市場に出揃い、その特性と患者背景を考慮して選択することが重要である。また、生物学的製剤の導入や維持できる施設も増加しており、環境の変化も見られ、さまざまなアプローチができるようになった。皮膚科医は臨床所見からだけでなく、患者さんのなりたい姿を起点として様々な選択肢を提案できるようになってきたが、患者さんのニーズも多様となっており、沿った治療選択が求められる。しかし、我々医師と患者さんの治療目標にはギャップが存在することも報告されている。外来診療の中で短期的や長期的な治療目標を明確にし、達成に向けた治療(Treat to Target:T2T)を行うため、症状や治療についての情報と患者の希望など医師と患者で共有し、治療を選択(Sheard decision making)することが求められている。本講演では患者さんのニーズや年齢や生活習慣などの患者背景を考慮した乾癬治療について検討したい。

ご略歴

2000年 川崎医科大学卒業	2007年 三豊総合病院 皮膚科
2004年 国立がんセンター研究所 リサーチレジデント	2008年 東京医科大学皮膚科学分野 助教
2006年 岡山大学大学院修了(皮膚科学)	2015年 東京医科大学皮膚科学分野 講師
2006年 笠岡第一病院附属診療所 皮膚科	



講演 2

長期的視点に立った 乾癬バイオ製剤選択のポイント

演者 大分大学医学部皮膚科学講座 助教 **齊藤 華奈実 先生**

乾癬は、近年、免疫介在性炎症性疾患(Immune-mediated inflammatory diseases、以下IMIDs)に包括される疾患としてとらえられている。IMIDsは、自然免疫反応と獲得免疫反応の両方が異常活性化し、慢性炎症と臓器障害を特徴とする疾患群である。また、乾癬は多くの併存疾患(Psoriatic Disease、以下PsD)を伴うことがあることが知られており、我々皮膚科医は、乾癬の診療において、皮疹以外の症状にも注意を払う必要がある。このようなPsDを考慮したうえで、乾癬の治療方針を検討し、乾癬の治療薬を選択していく必要があると考えている。乾癬の治療は、過去12年間で飛躍的に進歩し、治療の選択肢が増え、喜ばしい一方で、どの治療法を選択してよいのか悩むことも少なくない。筆者は約10年の乾癬におけるバイオ製剤の治療経験から、乾癬バイオの選択においていくつかのポイントがあると考えている。本講演では、乾癬バイオ製剤選択において、IL-17を阻害する意義を長期的な視点から考察したい。

ご略歴

2008年3月 大分大学医学部卒業	2018年4月 大分大学皮膚科 医員
2008年4月 大分大学医学部付属病院 初期臨床研修医	2019年7月 大分大学皮膚科病院 特任助教
2010年4月 大分大学皮膚科 医員	2020年4月 大分大学皮膚科副病棟 医長
2013年9月 大分県立病院皮膚科 医員	2023年4月 大分大学皮膚科学講座 助教

